

ベッコウトンボ

1. 名称及び指定区分

ベッコウトンボ 天然記念物

2. 所在の場所

中津市大字野依（野依新池）

3. 所有者の氏名又は名称及び住所

なし

4. 説 明

【概説】

ベッコウトンボはトンボ目トンボ科に属する体長約 4cm のトンボ（学名 *Libellula angelina*）である。翅を広げた大きさは 7cm 程度で各翅に特徴的な 3 個の明瞭な褐色斑がある。管理が行き届いた植生の豊富な里山の溜池に生息するため、人間活動に依存する種といえる。国内で安定して発生している生息地は少なく、県内では野依新池と植野池（宇佐市大字清水）で安定的に生息している。

市内には灌漑用の溜池が多くあり、数十年前までは各溜池で生息していたが、現在は野依新池と隣接する植野池（宇佐市）のみに発生する。安定的な発生は県内でも本地域のみしか確認されておらず、当市のみならず県を代表する昆虫といえる。

【生態】

雌と未成熟な雄の体色は淡褐色だが、雄は成熟すると濃褐色になる。年 1 世代型で成虫は主に 4 月から 6 月にかけて発生する。生息環境は平地から丘陵地の抽水植物画にまだら生育し、周辺に草地が広がる水深の浅い池沼である。未熟期や休息時は池周辺の草地で過ごし、成熟すると池内へ移動する。幼虫は堆積物のある水底に生息する。

【分布】

日本、中国、朝鮮半島に生息が記録されている。国内では静岡県（桶ヶ谷沼）、山口県（山口県立きらら浜自然観察公園）、福岡県（響灘ビオトープ）、大分県（野依新池、植野池）、鹿児島県（藺牟田池）に分布。

【指定状況】

- ・国内希少野生動植物種（種の保存法）
- ・大分県指定希少野生動植物（指定：平成 22 年 3 月 31 日）
- ・大分県 RDB2011：絶滅危惧種 I A 類、環境省 RL2019：絶滅危惧種 I A 類

【報告書】

『大分県の天然記念物（動物・植物）天然記念物緊急調査（動物・植物）報告書』大分県 2020
『中津市野依新池生物調査報告書』中津市 2022

【参考】

・野依新池周辺における過去8年間の頭数（2015-2022）

観察年月日	野依新池周辺	植野池周辺	合計
2015(4.18)	834	111	945
2016(4.12)	799	363	1162
2017(4.21)	88	139	227
2018(4.10)	647	209	856
2019(4.16)	131	62	193
2020(4.11)	53	70	123
2021(4.09)	151	82	233
2022(4.25)	53	15	68

『中津市野依新池生物調査報告書』より引用

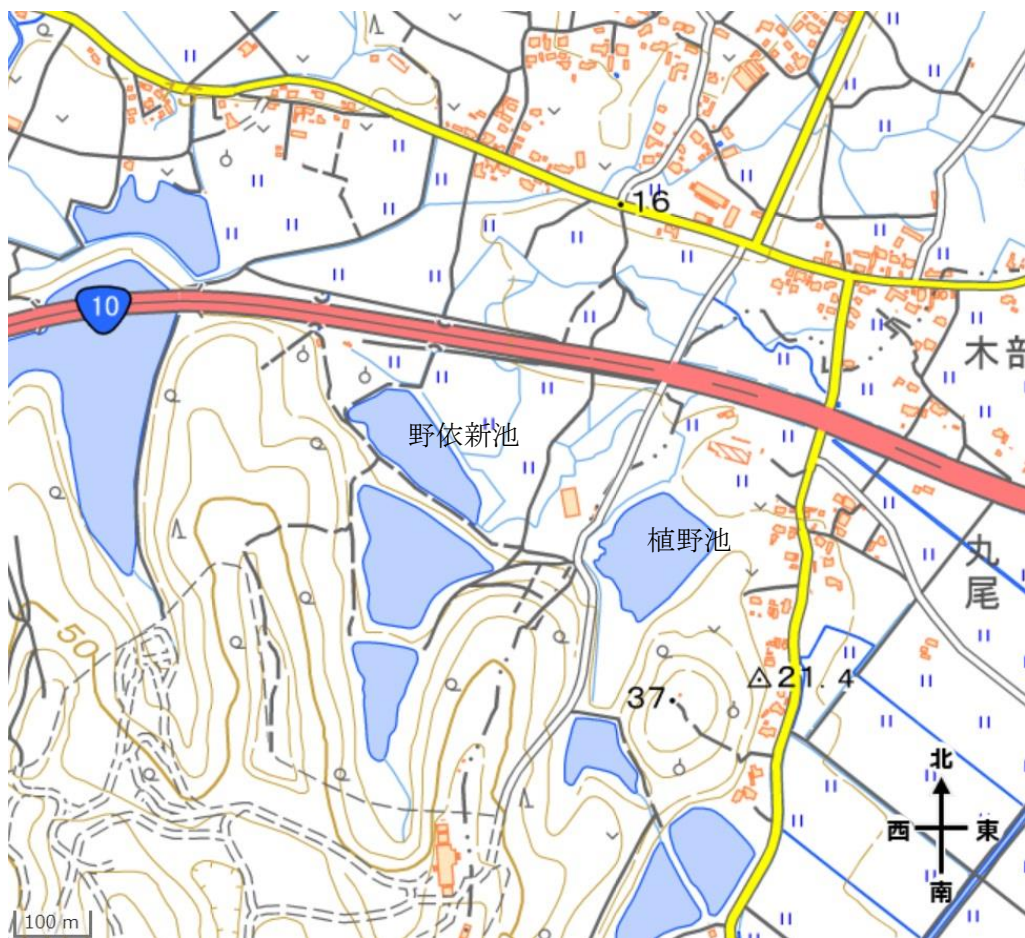
*発生個体数の調査は各年、4月から5月の間で複数回実施しており、上記表は各年で最大数観測した日・数を記載。



ベッコウトンボ・雌または未成熟な雄（令和5年4月26日撮影）



ベッコウトンボ・雄（令和6年4月28日撮影）



生息地位置図

出典：国土地理院地図（標準地図）に池名加筆



野依新池（南東から撮影）